

# eoms 7

2004.1

吉澤徳川に聞く  
デザインフルで力強い

シリーズ アルミニ建築探訪  
大阪「ビーンズダイニング・ソヤ」  
アルミニ新プロジェクト発足のこ案内

eoms [エームス]

2004

2004年2月8日発行(年間6回) 第7回 発行元 SUS株式会社 TEL:054-61-0061 FAX:054-61-0063 この印刷物は、環境保護のため大豆油インクと再生紙を使用しています。

0402-17000 (1)

ご意見募集 eoms では、よりフレンドリーで充実した情報誌を目指していますので、ご意見・ご感想や内容に対するご要望等何なりとご自由にお寄せください。

0402-17000 (1)



Alumi  
Art.

[www.ecomsfit.com](http://www.ecomsfit.com)

# 地震とアルミニ建築



SUS株式会社 代表取締役社長

石田保夫

材は高価で、一般の人々には手に入れることが難しいという現実があったようです。こうした現状、すなわち貧困が大量の死者を発生させたと言えなくもないと思います。

翻つて日本はどうでしょうか。阪神淡路大震災ではマグニチュード7・3で、今回のイラン南東部地震よりも大きく、木造建築が多くたために火災による死者が多数出たという特徴がありました。頻繁に地震が起きるとい

う面では似たようなものです。静岡県では東海沖地震発生の可能性が叫ばれて久しく、地震予知の研究は相当進展しているようです。

地震が起きた場合、死者の多くは戻すと作物の生育にも役立てられるという自然環境システムに組み込まれた優れた建築材料だと言えます。ただし、最大の課題である地震に対して弱いという欠点を除けばということになりますが…。

イランでは近年、大規模な地震が数多く発生し、そのたびに大きな被害を受けています。この建築構造には多くの問題点が指摘され、対策案も講じられてきましたが、実際にはなかなか進展しなかったようです。日干しレンガは土を固めるだけですからタダ同然の建築材料ですが、一方木材や鉄の要因が少ないので、今回の地震を契機に強い安全性の高い建築はどのようにしたらよいかを

考えてみたいと思います。  
地震に強い住宅建築のポイントは、軽量化、不燃化、そして免震機構の3点だとSUSは考えます。まず軽量化ですが、建築物は構造が許す限り、軽い方が有利です。地震は上下震動と水平震動の2種類の震動がありますが、水平に比べて上下震動は小さく、建築はもっぱら水平震動との戦いになります。

$f = m/a$  の物理の公式で考えれば、水平震動力  $F$  は、建物の質量  $m$  と地震加速度  $a$  の掛算になります。建物の質量  $m$  が小さければ小さい程、受ける力は小さくなるわけです。アルミ建築においては、他の材料に比べて軽く作ることで容易であり、軽量化はコスト低減にもつながるわけで、必要最低限の重量にまで追い込むことで、地震に対しても有利になります。

2点目は不燃化です。建物倒壊からの2次災害である火災に対しても、ガードする必要があります。木造建築の場合は、火災対策が最大の難点になります。耐火性能とまでは言いませんが、主要構造部材が自燃燃焼しない不燃材であることが求められます。火災が発生しても延焼させない、拡大させない素材が必要です。アルミに加えて鉄やコンクリートが考えられます。

そして3点目は免震機構の設置です。これは揺れている地面と建築物を切り離し、水平震動力を建物に伝えなくするために、その中間に免震機構を設置する考えです。地盤面と建築物を一体構造とする、地震の力に負けないように強固な構造にしなければなりません。免震機構は建物の重量だけを地盤面に伝え、水平振動力は建物に伝えないという機械装置です。SUSはこの免震機構を開発していますが、風に対する揺れ防止、地震発生後の位置修正、製作コストなど考えていかなければいけない課題はあります。

二つ解決し、なるべく早くリースしたいと考えています。  
地震に負けない住宅建築づくりは、以上3点を満たさなければいけないとSUSは考えます。そのためにもアルミ建築は有効であると思います。主要部材をアルミで構成し、地震に対しては、水平に動いたり戻つたりと、まるで機械装置のような建築と言つたらいいのでしょうか。地震対策は、自然と人間の知恵比べです。技術的には充分解決できる課題であり、我々はアルミ建築を実証する中で検証していきます。

昨年の12月26日にイラン南東部でマグニチュード6・3の強い地震が起きました。この地震により、約4万人が建物倒壊で死亡したとのことです。この地域は地震がとても起きやすい地盤であり、数多い死者が出たのは、住宅が地震に弱い日干しレンガ造りだったことが主要原因と報じられています。この建築構造は、上下方向の揺れには耐えますが、水平方向の揺れには弱く崩れやすい欠点を持っています。

この地域は雨が少ない上に、太陽熱が強く、また夏と冬、昼と夜の寒暖差が大きいという気候特性があります。こうした気候特性には日干しレンガが適しており、家を取り崩して土に戻すと作物の生育にも役立てられるという自然環境システムに組み込まれた優れた建築材料だと言えます。ただし、最大の課題である地震に対して弱いという欠点を除けばということになりますが…。

イランでは近年、大規模な地震が数多く発生し、そのたびに大きな被害を受けています。この建築構造には多くの問題点が指摘され、対策案も講じられてきましたが、実際にはなかなか進展しなかったようです。日干しレンガは土を固めるだけですからタダ同然の建築材料ですが、一方木材や鉄の要因が少ないので、今回の地震を契機に強い安全性の高い建築はどのようにしたらよいかを



# 吉岡徳仁

[Tokujin Yoshioka]

●特集/吉岡徳仁氏に聞く

## 「シンプルで力強いデザイン」

『マテリアルに魔法をかけるデザイナー』と世界で称される吉岡徳仁氏。彼にとってデザインすることは、一体何を意味しているのだろうか。

ecoms 2004. No.007  
2/6

c o n t e n t s

## ⑤ 吉岡徳仁氏に聞く 「シンプルで 力強いデザイン」

- 3 地震とアルミ建築—石田保夫
- 12 SUSバンコク紹介
- 16 シリーズ アルミ建築探訪②—大阪「ビーンズダイニング・ソヤ」
- 20 アルミ構造設計入門③—飯嶋俊比古
- 22 ちょっとブレイクタイム②—「こんなワインが飲みたい!」
- 23 アルミ家具新プロジェクト発足のご案内
- 24 セミナー報告⑬—すまいの設計と静岡の風土について・清 峰芳
- 26 アルミ小物シリーズ③—こだわりのオーダーメイドバッグ・スタジオ・プロペラ
- 28 椅子の名品たち①—シェーズ・ロング・内藤博義
- 30 納品実例—東京都千代田区 A社・静岡市 山崎邸・静岡市 M社
- 34 アルミでビフォーアフター①—オフィス編
- 36 アルミニコーディネート術①—アジアンスタイル
- 38 セミナー報告⑭—素敵な迎春の食卓&お正月のお茶・栗田富美子
- 40 芸術家に聞く—白井洋子・櫻井朱實
- 41 アルミアートの世界—関 正司
- 42 カタログ紹介—バックナンバー





写真 Nacasa & Partners inc.

A:アルミニウムの面白い所は、表情が変わる所だと思います。硬かった素材の表情が柔らかく見える。例えばアルミニウムの溶け出した感じとか、花咲(押出し)材の削りクズなんかそうですね。それがすごくいい。現実の素材ではないように見えるのも、アルミニウムの魅力だと思います。

Q:デザインを見るときは、常にそれを「デザインする」ということを意識して見ているのですか。

A:デザインを意識するというより、まずは自分が感動するか…という点で思います。

Q:アルミニウムという素材のどんな所に魅力を感じますか。

A:アルミニウムの面白い所は、表情が変わる所だと思います。硬かった素材の表情が柔らかく見える。例えばアルミニウムの溶け出した感じとか、花咲(押出し)材の削りクズなんかそうですね。それがすごくいい。現実の素材ではないように見えるのも、アルミニウムの魅力だと思います。

Q:自分が感動すること、そこからイマジネーションの輪が広がる印象について教えてください。

A:非常に丁寧なつくりですね。アルミニウムの会社らしくアルミニウムを家具の主役に持ってきているのがいい。このイスは、とてもいいですよ。

Q:吉岡さんはアルミニウムを自由に加工して、デザインにふんだんに取り込んでいらっしゃいますね。

A:特殊な空間を扱うことが多いので、アルミニウムを普通に使うだけでは話題性もインパクトもなくなってしまうんです。アルミニウムは溶かしたり、吹き付けたり、巻きつけたり…いろいろな使い方があると思うんですよ。そういう様々な表現方法の中から、まだ誰も知らなかつた新しい『アルミニウムの一面』というのを引き出していきたいと思っています。

Q:アルミニウムの面白い所は、表情が変わる所だと思います。硬かった素材の表情が柔らかく見える。例えばアルミニウムの溶け出した感じとか、花咲(押出し)

材の削りクズなんかそうですね。それがすごくいい。現実の素材ではないように見えるのも、アルミニウムの魅力だと思います。

Q:素材を見るときは、常にそれを「デザインする」ということを意識して見ているのですか。

A:デザインを意識するというより、ま



写真 Nacasa & Partners inc.

「なんの? A-POC Miyake Issey & Fujwara Dai」展

# Tokyo-pop

椅子をもっと日常的なものにという願いから生まれたTokyo-pop。そのシリーズとして2003年、Tokyo-pop2が発表されました。Tokyo-pop2は口一テーションモールディング製法を使用したはじめてのテーブル、ハイズツールです。そのフォルムはスポンジを覆ったときに生まれる緩やかなカーブ。人がソファに座ったときにクッションが受ける柔らかい圧力といった、人が無意識に日常の中で生み出すかたちをもとにしています。Tokyo-pop2のほか、“EN”“SEN”“NAMI”などの作品も同時に発表しました。



## 時代に流されない、自分らしい いデザインを残していくきたい

Q.吉岡さんの仕事の進め方について  
教えてください。

A.僕らの仕事は、時間的に非常に制約があります。まずは完成させなければいけないというのが第一条件なんです。その上で、もちろんいいものでなければならぬ。だから仕事が来た時点で、まず「アイディアを出す。それをベースに完成度を高めていくわけですね。作業を進めながら、常に「これいいのか?」って自問自答し続けていますね。ダメだと思い始めたら、次のアイ

なければならない。そこに素材の持つ力強さを融合させて生まれるのが、僕のデザインだと思うんです。  
Q.吉岡さんの代表作『ハニーポップ』のハニカム構造と、アルミ建築のラチスパネルは、似通った構造をしていると思うのですが…。

A.このパネルは小さなバーツの集合体なんですね。一体化されたものではなく、小さなバーツという点が面白いです。山本(理顕)さんもそうですし、伊東豊雄さんもそうですが、構造からデザインするという部分で新しい挑戦をされている方が多いですね。建築本来の美しさを考えると、構造からデザインするというのは、すごく重要な事だと思います。表面だけを作るのがデザインの仕事」といつた概念がなくなっていますね。インテリアも建築も、根本的な部分、すなわち素材や構造から考えていかないと、いいデザインはできないということなのではないでしょうか。

Q.『シンプルで力強いデザイン』とは具体的にどういうものですか。

A.自分が生活して行く上で必要なものはなにかと考えた場合、あまりデザインされていないものだと思うんですね。でもシンプルできれいなだけではつまらない。物としての価値がないと思うんですね。今の世の中、シンプルなだけならたくさんあるんです。だから新しいものを生み出すにあたっては「新しくもあり、シンプル」というもので力強いデザイン」これが僕のスタイルだと思っています。

Q.エコムスの本体であるSUSは産業用ロボットの会社なんですよ。ぜひ協力をお願いします(笑)。

Q.素材といえば、吉岡さんは海外で「マテリアルボーラー」といった評価を受けられています。吉岡さんは海外で「マテリアルボーラー」といった評価を受けられていらっしゃいますね。

A.僕自身としては、伝えたいと思う事を素材からデザインしているという事だけなんですけどね。今まで素材からデザインする人がいなかつたから、そのように言われるのもしません。いい素材とデザインを融合させることから生まれる「シンプルでありながら力強いデザイン」これが僕のスタイルだと思っています。

Q.最近、何かに感動しましたか?

A.ロボット展で見た「産業用ロボット」に感動しました。生きているんじゃないのか?と思うほどの動きで、本当にかっこよかったです。これは何かに使えるなって。

Q.最近、何かに感動しましたか?



# TOKUJIN YOSHIOKA

[ヨシオカ トクジン]

1967年 佐賀県生まれ。86年 桑沢デザイン研究所を卒業後、倉俣史朗、三宅一生のもとでデザインを学ぶ。92年よりフリーランスとして活動を開始し、'00年 吉岡徳仁デザイン事務所設立。代表作として「ISSEY MIYAKE」「A-POC AOYAMA」のショップデザイン、「BMW」「SHISEIDO 5S」「NTT-X」の空間デザインがある。パリ、NY、東京で開催された「ISSEY MIYAKE Making Things」展の空間デザインなど、実験的デザインが海外でも高い評価を得ている他、「01年秋 六本木AXISにて「TOKUJIN YOSHIOKA Xperiment—実験」開催、森ビル都市再開発の一環「THINK ZONE」や「ロボットミーム展」(日本科学未来館)の会場設計を手掛ける等、更なる活躍が期待されている。I.D. ANNUAL DESIGN REVIEW, A&W AWARD, 毎日デザイン賞他 多数を受賞している。

HP [www.tokujin.com](http://www.tokujin.com) E-mail [tyd@tokujin.com](mailto:tyd@tokujin.com)



写真 Nacasa & Partners inc.



A-POC AOYAMA (2000)

「一体成型」  
三宅一生と藤原大が新しく提案する衣服  
「A-POC（エイポック）」のショップデザイン。

エイポックは「一体成型」というコンセプトからつくられている衣服。そのコンセプトを素に頭に浮かんだ素材はドイツのBMW社が開発した車のマフラーなどを覆うエキゾーストパネル（「一体成型」の方法でつくれられる再生アルミニウム部品・遮断材として使用されている）だった。これは「一体成型」でつくれられた再生アルミニウムで遮断材として使用されているものです。車のエンジンやマフラーなどの機能は、空間で言えば天井ダクトや配管などの設備機能に似ています。この素材の製造方法や機能をそのまま衣服のコンセプトとして置き換え、空間全体をエキゾーストパネルで覆うことにより「エイポック」のコンセプトを、より強調させることを考えた。



A: デザインに限らず今の時代に残っているものというのは、何か必要性があるから残っているんですね。その反面、必要なないものはすぐに消えてなくなる。時代の流れだけ物を作ると、それはとても危険な事だと思うし、そうして作られたものは時代と共になくなっていくと思います。だから十一年後も二十年後も残るデザイン、年月が経つても自信を持つて自慢できるデザイナー、そういう物を創りだしていくたいですね。自分が感動するのか、自分がそれを使うのか：常にそういう客観的な視点で物を見極めて、「力強くシンプルでありながら、どこか新しい」そういうデザインをずっと創りつづけていきたいと思っています。

Q: では最後に、吉岡さんにとってデザインするということはどうことなのでしょうか。  
A: デザインに限らず今の時代に残っているものというのは、何か必要性があるから残っているんですね。その反面、必要なないものはすぐに消えてなくなる。時代の流れだけ物を作ると、それはとても危険な事だと思うし、そうして作られたものは時代と共になくなっていくと思います。だから十一年後も二十年後も残るデザイン、年月が経つても自信を持つて自慢できるデザイナー、そういう物を創りだしていくたいですね。自分が感動するのか、自分がそれを使うのか：常にそういう客観的な視点で物を見極めて、「力強くシンプルでありながら、どこか新しい」そういうデザインをずっと創りつづけていきたいと思っています。

Q: 新しいプランに変更するというのではなく、その判断というのはどの時点で決められるのでしょうか。  
A: 今やろうとしている事に、意味があるのか…ということを考えます。プロジェクトを進めて行く上で、伝えなければならないことが出てくる。それが形に変化した時に「一番いいものができます」と思っています。僕らの仕事は、装飾・店舗内装じゃない。意味のある空間を作り上げるのが仕事なんです。ですか、その意味を追求した結果で、最良の判断をしています。



# SUSバンコクを訪ねて

インドシナ半島の中央に位置する東南アジアの仏教国、タイ。天使の都・クルンテープと呼ばれる首都バンコクにも、弊社SUSの海外子会社があります。今回は特別に「SUSバンコク」とタイのビジネス事情を紹介いたします。

## SUSバンコク設立のいきさつ

SUSバンコクが設立されたのは、2001年6月。IAS・シンガポールと並ぶ海外子会社としてスタートしました。主な販売商品は工業用自動化装置、産業用ロボットアルミフレームやアクリセサリーなどですが、今後はエコムス製品をタイでも販売展開していく予定で、事務所移転に伴いオフィス内にエコムス製品を導入。ショールームをかねたスペースとしてリニューアルしました。

バンコク市内の南東に位置し、スクンビット通りを直行するアソック通りに、バンコクオフィスが入っているGMMビルディングがあります。このビルにはタイの大手芸能プロダクションが入っており、タレントやモデルといった華やかな顔ぶれが日々出入りするところとして有名です。また近隣には、日本大使館領事部などもあります。

## 「慢性渋滞…」 バンコクの交通事情

近くには高速道路や高架鉄道が走るまさにバンコクの中心部。しかしこのエリア、実は渋滞のメッカとしても有名で、朝夕のラッシュ時や雨の時などは、歩いたほうが早いと言われているほどです。今年11月には地下鉄が開通する予定で、渋滞の緩和に期待が高まっています。

バンコクの交通手段は主に車かバイク。日本のように地下鉄などの公共交通機関の発達が遅れているため、移動手段としては渋滞覚悟でも車やバイク

クを使わざるを得ません。バスもありますが、この渋滞状況ではあまり役立っていないようです。

こんな渋滞の最中に、街中を象が歩いている!というのもタイならではの光景。もちろん交通機関のひとつではなく、ほとんどが観光目的としてですが、やはり象の存在は偉大。どんなに急いでいる車もストップさせて、悠々と町をかつ歩しています。

ちなみにタイのタクシー初乗り料金は35バーツ。1バーツが約2・8円なので、およそ100円程度です。このよう物価は日本に比べると相当安く、こうした安い労働力を求めて、日本のみならず海外の大手企業が次々と生産工場をタイへ移転させています。バンコクから車で1時間くらい走ったところに大きな工業団地があり、ここに多くの企業が工場を進出させていきます。タイはいま、日本から得た技術力を元に急速に発展を遂げています。

## 氣になるバンコクの労働賃金

「はじめて勤勉」と評判の高いタイの労働者。一体いくら位月給をもらっているのか、少々気になるところです。飲食店のウェイトレスなら3000~4000バーツ(一万円前後)、工場のオペレーターなら7000~1万バーツ(2万5000円程度)、一般事務員なら1万~1万5000バーツ(3万~4万円)が相場。大学卒の初任給は、1万2000~3万バーツ(8万円程度)くらい:と言われています。やはり高学歴だと高



SUSバンコクオフィスのエントランス。アルミフレームのオブジェが目を引きます。



**バンコク豆知識**  
人口:578万人  
気候:熱帯サバナン气候  
雨季:5月~10月  
乾季:11月~2月  
暑季:3月~5月  
気温:最高気温 35.7°C  
最低気温 22.9°C  
通貨:1バーツ=約2.82円



バンコクでもラチスピネルは注目の的。

海外のオフィスでも活躍するエコムス製品。

収入が得られるという実態は、日本と同じようです。

しかし車を保有し、オフィスで働いているのは中流階級と呼ばれる一部の人たちで、歩道地を入れば、今日を生きるのに精一杯:という「貧困」に喘ぐ人たちもたくさんいます。それがタイ社会の実態なのです。

人たちは、「歩道地を入れば、今日を生きるのに精一杯:という「貧困」に喘ぐ人たちもたくさんいます。それがタイ社会の実態なのです。

### 自動車産業とタイの深いかかわり

このような状況下で、今もともタイ国内で好調な産業、それは自動車業界です。日本からも、トヨタ・日産・ホンダ・三菱・マツダ・いすゞといった主要自動車のメーカーすべてがタイに生産工場をもっています。海外メーカーでは、やはりドイツ車の工場が多く進出しています。タイのタクシン首相は「タイをアジアのデトロイトにしたい!」と意気込んでいるそうです。とにかく、今、タイは自動車産業が目覚しい発展をしているのです。

多くの日系企業の進出をビジネスチャンスと捉えた我が社はSUSバンコクを設立し、現在はミネベア・タイランド、タイ・スタンレーなどの日系企業を中心としたタイのローカル企業にもビジネス展開を行っています。3期目となる今期は、順調に売上を伸ばしています。

現在、SUSバンコクの現地スタッフは男性5名、女性3名の総勢8名。20代から30代の若いメンバーで構成された活気あるオフィスです。今回導入されたエコムス家具についてのスタッフの感想は、「新しいオフィスの雰囲気にびつたり!明るくて快適だし、とてもきれいでかっこいい。すばらしい!」と大好評。快適なオフィス空間で、キビキビと仕事を取り組んでいます。

今回は、S-チエア12脚、S-ナーブル(1200×600)14台、(1500×1000)2台、(1500×800)1台、グリッドシェルフ3台(各種サイズ違い)、ローテーブル1台、シングルソファ12脚、ダブルソファ1脚、GFシェルフ1台を納品しました。オフィスのエンターンにはアルミフレームのオブジェクトラチスピネルが展示され、訪れた方の目を引きつけます。

では最後に、バンコクの観光情報を少しだけ紹介いたします。  
バンコクを訪れたなら、やはり足を運びたいのが、歴代国王の居城と王室を守護するワット・プラケオ(エメラルド寺院)。広大な王宮の敷地内で、一般公開されているのはワット・プラケオを中心とした北部のみですが、見ごたえは充分なのでたっぷり時間を取って見学しましょう。入場料は200バーツ。男女とも半ズボン、ノースリーブ、サンダルでの入場は禁止。暑いのでつい軽装になりがちですが、ここにお出かけの際は服装に気をつけましょう。国王の守護神であり、さまざまなお話に包まれた翡翠のエメラルド像が、奥深い神の世界にあなたを誘います。

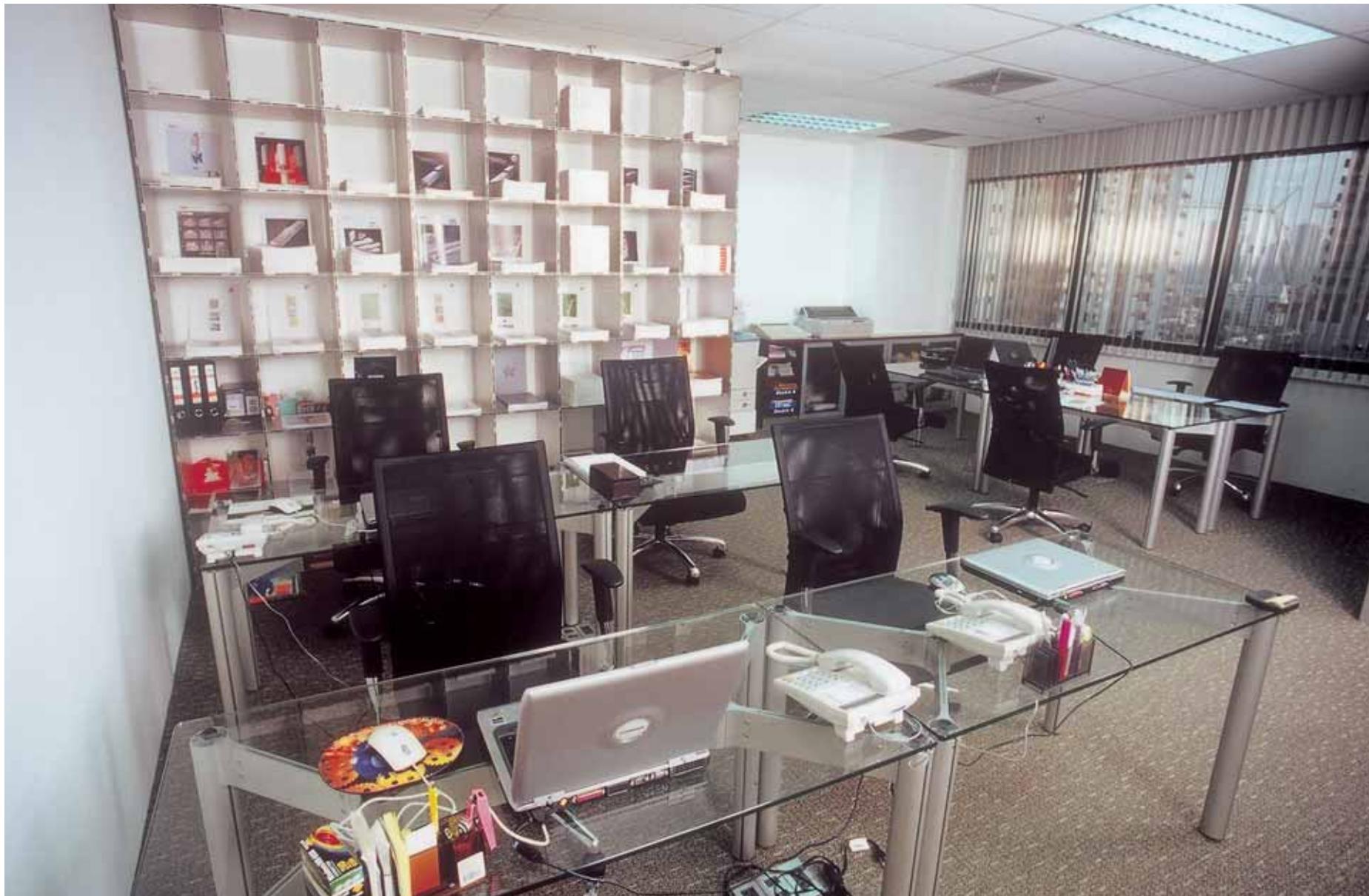
SUSバンコクの紹介、いかがでしたか?IASシンガポールやSUSタイランドの様子、周辺情報なども、機会を設けて紹介させていただきます。

### バンコクにも進出したエコムス

バンコクを訪れた際は、ぜひ一度、SUSバンコクオフィスにお立ち寄りください。現地スタッフが温かい笑顔で出迎えてくれるでしょう。運がよければ、タイの大物芸能人にも会えるかもしれませんよ。

### バンコク観光ならゼンジーベ。

神に最も近い場所「ワット・プラケオ



# 「つくれない時代」の「つくり過ぎない建築」という考え方

道行く人々の視線を捉えて放さないシルバーに輝く、うねるルーバー。一見意匠性を追求したかに見えるこの建物には、若手建築家の新しい取り組みが隠されていた。

## アルミルーバーがまぶしい 5年という期限付きの建築

大阪・北堀江。若者の新スポットとして賑わう南堀江と南船場を結ぶこの地域に、2002年夏、ひときわ異彩を放つ波形のアルミ製ルーバーを携えた建物が突如出現した。『ビーンズダイニング・ソヤ』。人目を引くインパクトのある外観や豆料理を中心とした飲食店という点にも興味をそそられるが、それ以上に注目すべきは、この建物が5年限定の『解体プロジェクト』であるという点だろう。よく練り上げられたプランにより、毎年その形状を変化させていくというこの建物は、5年後となる2007年夏、すべての任務を終え解体される。

『ソヤ』は京都出身の食通なオーナーが、長年勤務したコンピューター会社を退職後に起業した店だ。敷地はおろか、事業形態すら決まっていない状況から、建築家が店舗作りのプロジェクトに携わっている。期限付きの借地物件であることすら、楽しむかのようなく、何か面白いことを考へるヤツとして取材した。

「クライアントとは友人を通じて知り合いました。最初は建築家としてではなく、何か面白いことを考へるヤツ

…」といふことで紹介されたんですよ。商業施設の経営をはじめてみたい：それしか決まっていない、まさに白紙の状態からのスタートで、まずはアイデノティティを引き出すことからディスクッションを始めました。」

クライアントの考えを引き出して、それを姿あるものに変えていく。それが建築家としての仕事の醍醐味であり面白さであると平沼氏。業態が決まらずあとは、物件探しにも同行し、なんと100件近い物件を1年かけて見て回った。そして3年という限定期間で、ながら軀体に手を入れてもいいという木造倉庫の物件を北堀江で探し当てた。

## 「これから建築は、 造らないでどう創るのか」

数々の物件を見て回った結果、あえて期限付きの物件を選んだ陰には、若き建築家の挑戦が隠されていた。

「市場の影響を受けやすく、時代の流れに柔軟に対応していかなければならぬ商業施設のあり方を、期限付きという悪条件を使って示してみた」と考えたのです」

つくり終えてからその使い方や市場を拡大していく…というやり方に、以前から疑問をもっていたという平沼氏は、現在の建築のつくり方に「石を投じたかったという。

「気に建築をつくり上げるのではなく、市場が成熟していく速度に合わせてつくりていく。解体においても、一気に潰すのではなく、市場に合わせて分解していく。そういうた建築のつくり方





# KHOKI HIRANUMA

平沼孝啓 [ヒーズワークショップーアジア主宰 大阪市]

1971年大阪府生まれ。91~93年 大川建築設計事務所勤務。  
93年 修成建設専門学校建築学科卒業、93~99年 北田建築  
設計事務所。95年 大阪工業大学建築学科卒業。97年AAスクール(ロンドン)。99年ヒーズワークショップーアジア設立。

<http://www.hs-works.com>



なく面。アルミの幕パネルを使ったテン  
トという考え方です。小規模だったら、  
サッシンの棟が構造を兼ねている…とい  
う作り方が実現できたら面白いと思  
いますね。最終的には、ログハウスのよ  
うに自分で組み立てられるようになつ  
たらいいと思います。日本の定置借  
地権の問題もアルミ建築で解決でき  
る日が来るかもしませんね(笑)」



1.瀬戸内産牡蠣のミニエル  
焦がしバターソース 2.瀬戸内  
産牡蠣のスパゲッティ 3.備中  
高原地鶏のソテー白いんげん  
豆のトマト煮込み添え 4.ベス  
カトーレ 5.フランス産マグレ鴨  
のロースト 6.ビーンズサラダ  
7.ソーセージと半熟卵のピザ



「建築コストがかかりすぎて、『つく  
りたくても、つくれない』という時代  
に直面している僕らの世代の建築家は、  
業態の用途に応じてフレキシブルに対  
応できる『つくりすぎない建築』を提  
案していかなければいけないと思って  
います。取り外せる組み立てられる、  
リサイクルできる…」テントのように簡  
単に解体できて、移動や収納も可能  
な建築。そういう考えを具現化する  
には、軽くて精度が高いアルミは、非常  
に注目すべき素材だと思いますね」  
これからは、建築の在り方そのもの  
が問われる時代。内側だけを修繕す  
るのでなく、建物自体がリノベーション・コンバージョンしていくソヤのような建  
築が増えてくるのでは…と話す  
平沼氏に、今後の構想を語つもらつた。  
「大きな建築物だったら、アルミのパネ  
ルで幕構造…イメージとしては線では



『soya』ではメインからデザートまで、  
世界中の豆をさまざまな調理法で  
仕立てた料理をご用意。そら豆、グ  
リーンピース、ひよこ豆、大豆、い  
んげん豆。豆の種類は多種多様。  
スタイルッシュなスペースとヘルシ  
ーな創作料理を堪能いただけます。

beans dining『Soya』  
大阪市西区北堀江1-9-3  
TEL:06-6110-1460  
<http://www.soya.ne.jp>



を実証してみたいのです」  
解体プロジェクトの第一段階では屋根  
を抜き、透明なガラスを乗せて空が見  
える空間に変化させること。今あ  
るルーバーも一部が取り外され、テラス  
がつくられる。次の段階ではルーバー  
を全部外してしまうことも考えてい  
るらしい。

「限られた年月の中で、解体という最  
終目的に向かつて建物の表情がどんど  
ん変わっていく。その様子も楽しめる  
ような建築というものがあつても面白  
いと思うんですよ」

このプロジェクトをきっかけに、「仮  
設建築」という考えに強い興味を持  
ち始めたという平沼氏は建築の提案  
にアルミという素材を積極的に用いて  
いる。

「建築コストがかかりすぎて、『つく  
りたくても、つくれない』という時代  
に直面している僕らの世代の建築家は、  
業態の用途に応じてフレキシブルに対  
応できる『つくりすぎない建築』を提  
案していかなければいけないと思って  
います。取り外せる組み立てられる、  
リサイクルできる…」テントのように簡  
単に解体できて、移動や収納も可能  
な建築。そういう考えを具現化する  
には、軽くて精度が高いアルミは、非常  
に注目すべき素材だと思いますね」

## はじめに

前回①、②では、力学を中心に話を進めましたが、今回は、少し力学から離れたアルミ形材の断面について説明いたします。

アルミの特徴のひとつは、押出し加工です。どのような形状にでも（厳密には違いますが）押出し加工が可能です。アルミ形材は、あらゆる分野で使用されていますが、アルミ建築構造材は、ほとんど存在しないのが現状です。鋼材の形状をアルミで実現することも必要ですが、アルミの特徴を活かした構造を生み出すためには、アルミの特徴を活かした断面が必要です。アルミ断面に知能及び英知を盛り込むことにより、新しい継ぎ手、新しい架構、新しい構造表現が可能となります。今までに、アルミ形材断面に対するいろいろな工夫、アイデアが提案されています。ここでは、それらを紹介し、アルミ断面の無限の可能性を感じただければ幸いです。

## アルミ形材の供給

アルミ形材は、設計者が断面を設計し、それをメーカーに発注して押出してもらうというのが原則です。アルミは鋼材とは異なり、標準的なH形材、溝形材、角形・丸形管等は、僅かしかありません。従いまして、設計者はその都度断面を設計する必要があります。また、その設計された断面は実際に押出しが可能なのか、材質、押出すアルミの量とコストの問題、納期の問題等、メーカーに問い合わせなければ判らないこともあります。また、各メーカーは標準的な断面形状の金型を所有しています。その金型の中にイメージする形状があればそれを利用するということも可能です。この場合も、メーカーに相談する必要があります。押出すアルミの量およびコストと納期によっては引き受けられない場合もありますから注意を要します。小さな断面であれば金属問屋で在庫し、小口販売しているものもたくさんありますので、それを利用することも考えられます。

## 断面設計の基本

アルミ形材設計の基本の基本は、以下の3つです。

- ①ソリッド材（中実断面）とホロー材（中空断面）
- ②形材の外接円寸法
- ③材質

以下に順次説明いたします。ここでも力学の説明と同様に厳密さは要求しないことにします。

### (1) ソリッド材（中実断面）とホロー材（中空断面）

ソリッド材とは、図-1に示すように中空断面部を含まない形状（開断面）をいいます。ホロー材とは、図-2に示すように中空断面形材をいいます。図-3には、中実断面と中空断面が組み合わされた部材の例を示します。アルミの押出しとは、アルミの円柱（ビレット）が押出され、金型を通過することにより形材を形成する方法です。アルミ形材は、トコロテンのように押出されるわけですから、アルミ形材の形状が図-1に示されるようなソリッド材であれば、その仕組みを理解するのは簡単です。しかし、図-2に示されるようなホロー材は、どのような仕組みで押出されるのかイメージすることは、なかなか困難です。中空の断面を形成するためには、中空部に相当する金型が宙に浮いていなければいけません。実際には、金型を中に浮かすことはできませんので、2つの金型を組み合わせることにより実現します。中空断面の形材は複数の断面に分割されて1段目の金型を通過します。そして2段目の金型で外形を組み合わせ、ホロー材の金型が完成されます。押出し加工によりホロー材等複雑な断面形状の形材を高い精度で成形できることが、設計の選択肢を広げることになります。

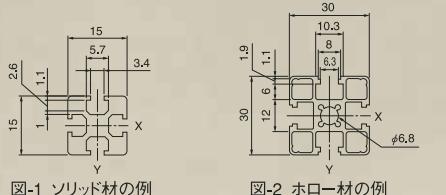


図-1 ソリッド材の例

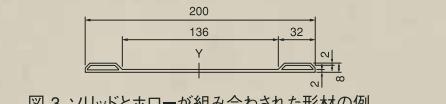


図-2 ホロー材の例

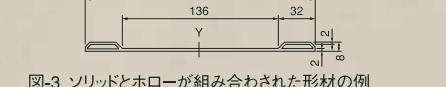


図-3 ソリッドとホローが組み合わされた形材の例

### (2) 形材の外接円寸法

アルミ押出材は、どんな大きさの断面でも押出し可能という訳ではなく、押出機の能力によってその大きさは制限されます。ここで『アルミ押出材の断面の大きさ』と言っても、形状は千差万別ですので、アルミ押出材の大きさを表現する統一した評価基準が必要となります。その評価基準が、図-4に示す形材の外接円という訳です。厳密には、ホロー部分があるとか、アルミのかたまりが偏在するとか、外接円の中心をどこに取るべきかという難しいルールがあります。詳細については、メーカーに相談し最終判断をお願いする必要があります。設計者としては、単純に形材の外接円の大きさで判断すればよろしいかと思います。

外接円の大きさですが、大きく3つに区分されます。

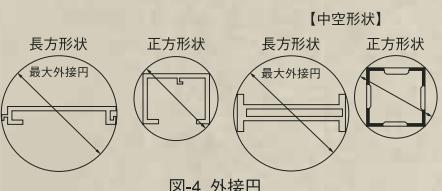


図-4 外接円

①25cm(10インチ)以下

②36cm(16インチ)以下

③36cmを超える(当然限界はあります)

外接円が25cm(10インチ)以下の形材は、最も一般的な大きさです。この大きさであれば、殆どのメーカーで押出しが可能でしょう。外接円25cmを超える形材は製作できるメーカーは限られます。36cmを超える大きさは、別の次元の大きさということになります。納期・コスト等事前にメーカーと相談する必要があります。ですから、外接円25cm以下に設計することが第1の目標となり、それが不可能であれば外接円36cm以下の範囲で考えることになります。当然、25cmと36cmの間という直径のビレットも存在しますので、コンパクトに設計することを心がけることは意味があります。金型が大きくなれば、金型そのものの値段も高くなりますので、断面をコンパクトに設計することは金型費を安くするという効果もあります。

外接円36cmを超える大きさの形材は、通常の設計では使用を考えないほうが無難ではないでしょうか。

### (3) 材質

アルミの押出し加工は、材質によって押出しの加工性が違います。一般的には、強度の高い材質は、押出しの加工性が悪くなります。また、ホロー材を押出せない材質もあります。代表的な材質について、押出し加工性を表1に示します。

材質	基準強度 N/mm <sup>2</sup>	加工性
A5083-0	110	△
A6063-T5	110	◎
A6N01-T5	175	◎
A6061-T6	210	○

A5083は、溶接をしても基準強度は低下しない告示に示されている唯一の材質ですが、表1に示すようにホロー材を押出しが難しい材質で、かつ押出し加工性がA6063に比べてかなり悪い材質です。

このことから、A5083は複雑な断面の押出材として使用するよりは、簡単な断面の形材、または、板材を溶接して使うのに適した材料といえます。A6063は、押出し加工性の良い材質でアルマイトの表面も美しく、サッシ、カーテンウォール、カーポート等に使用されています。アルミ部材の断面が変形に対して決定されるのであれば、最も効率の良い材質となります。

A6N01は、A6063と同様に押出し加工性も良く基準強度もA6063の約1.6倍あります。また、溶接をした場合の基準強度も100N/mm<sup>2</sup>であり、若干下まわるものA6063に相当する強度があります。形材断面が強度で決まるのであれば、A6063に比べて効率の良い材質になります。A6061-T6は、この表の中で最強です。断面が強度で決まるのであれば、この材質が最適となります。ただし、T6処理されていることから、熱処理時において形材に歪みが生じるため、複雑な断面のときには、メーカーに相談する必要があります。また、メーカーによっては、この材料を扱っていない場合もありますので、ここも注意を要します。

## 断面の工夫

必要な部分に必要なアルミを配置し、必要な部分には最小限のアルミを配置するという配慮をすることにより、アルミ形材の外形を変えることなくアルミ形材の単重を少なくすることができます。また、外から見ると単なる角パイプが、断面を見ると角型鋼管とは全く異なる形状をし、機能が盛り込まれているといったことも可能です。

順次、基本的なテクニックを述べます。前述①、②だけの力学の説明では、理解できない部分もあるかと思いますが、ここでは、こんな断面の工夫もあるのかという程度で見ていただければ幸いです。

### (1) 閉断面

図-5に、ダブルウェブのH断面を示します。ウェブをダブルにすることにより、接合が容易になります。また、フランジとウェブで箱状の閉断面が構成され、捩れ剛性が高まるという効果を生じます。

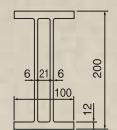


図-5 ダブルウェブH断面の例

### (2) 座屈止め（さや管）

アルミの押出し加工の精度の良さを利用し、図-6に示すような形材の組み合わせが可能です。内側の形材が圧縮力を負担し、外側の部材によって内側の部材が座屈するのを防ぐという仕組みです。座屈については、別の機会で説明いたしますが、ここでは『壊れる』と単純に理解しておくことにしてください。

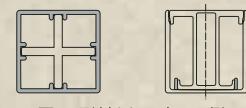


図-6 形材を組み合せた例

### (3) ボルト・ビス関係

図-7に示す形材の溝は、ボルトの頭を通す溝です。この溝により任意の位置にボルトをセットすることが可能になります。締付時ボルトの廻り止めにもなります。図-8はタップラインと称するもので、ボルト又はタッピングネジに必要なネジ山を与えるために部分的に板厚を大きくしたものです。図-9はタッピングホールと呼ばれ、この部分を利用してタッピングをねじ込みます。これの賢いところは、この部分が閉断面になっていないことです。

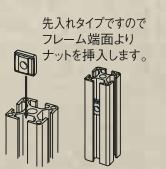


図-7 ボルト用の溝

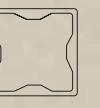


図-8 タップライン

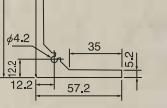


図-9 タッピングホール

### (4) パルプ効果

図-10は、板にパルプを設けることにより、板の局部座屈を拘束しようというものです。座屈拘束という意味では、図-6と同じ効果を狙ったものです。アルミの場合には、このパルプを任意断面の位置に設けられますので、板の座屈を効果的に防止できます。

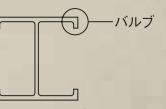


図-10 パルプ

### (5) はめあい

はめあいとは、文字通り形材断面の端部にしきを施し、形材と形材とを幅方向にはめあわせる方法です。

図-11にはめあいの例を示します。形材の幅には制限がありますから、1つの形材で大きな幅の部材を入れることは不可能です。小さな幅の形材を嵌合することにより、平面的に大きな板状の部材を構成することができます。

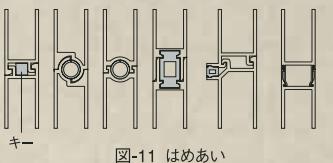


図-11 はめあい

## おわり

アルミ最大の特徴である押出材について、構造上の創意工夫を中心に説明をいたしました。

これらの説明は、基本の基本です。自由な発想で断面を考えていただくスタート台の一助になればと思います。

図4.5.6及び11は、アルミニウム建築構造協議会「アルミニウム建築のデザイン」から引用いたしました。引用の許可をくださいましたアルミニウム建築構造協議会に感謝いたします。

# あなたはワインのこと、どれくらい知っていますか？

今回は、ワインの作り方についてお話しします。日々、何気なく口にしている物がどのようにして作られているのかを知ることは、意外に面白いものです。ワインを嗜むには、产地や銘柄を…とおっしゃる方も多いかと思いますが、「どんな工程を経て芳醇な味を醸し出すのか、そんなうんちくを覚えておくのも、ワインをおいしく味わつ上で必要な『雑学』」のひとつかもしれません。

ちよとBreak Time!!



ワイン醸造の原理は、「ぶどう果実を発酵させる」という非常に単純なもので。ぶどうの果実はぶどう糖、果糖などの発酵性糖分をそのまま含んでいるのでビールや日本酒のように麦や米のデンプンを二度、糖化してから発酵させるという手間がいりません。ぶどうの皮そのものに多くの天然酵母が付着しているので、つぶして放置すれば自然に発酵してワインになるわけです。今回は、赤ワインの醸造プロセスをご紹介します。赤ワインを作るには、赤い色素が果皮に多く含まれる「黒色系ぶどう」を使用します。ワインに使われるぶどうの品種は数多くあります、いずれも生食用のぶどうに比べて小ぶりで、実の密度が高く、糖度もとても高いのが特徴です。

**【赤ワインの醸造方法】**  
① 黒色系ぶどうを破碎除梗機にかけてつぶし、果梗を除去した後、果皮、果肉、種子と一緒にタンクに入れ、27～30度で7～10日間、醸酵(酵母の力で果汁内に含まれている糖分がアルコールと炭酸ガスに分解されること)させます。(かもし期間)。  
② 醸酵とともにアルコールが生成され、果皮からアントシアニンと呼ばれる赤い色素が抽出される。また種子からは、渋みの主体を形成するタンニンが抽出される。

③ 醸酵終了後に圧搾し、マロラクティック醸酵(ワインに含まれるリノゴ酸が乳酸菌の働きで乳酸に変化する現象)に移る。この発酵で酸味が和らげられてしまうやかになり、酒質に複雑性を増して芳醇な香味を形成する。

④ 醸酵を終えたワインをタンク、または樽に移し替えて貯蔵庫で1～2年熟成させる。こうすることでワインを落ち着かせ、成分のバランスをほどよい飲み口に整える。

⑤ 淳と呼ばれる浮遊物による濁りを取り除き(濁引き)、ワインを透明にし、さらにもろ過を行い、瓶に詰める。熟成タイプのワインはさらに貯蔵庫に寝かせる。(瓶熟)  
いかがでしたか?こうした工程を経て、ワインは作られているのです。前回ご紹介した、「修道院ワイン」もこのプロセスにしたがつて醸造されています。もちろん、ぶどうの栽培は、「AJU自立の家」の皆さんのが力をあわせて行っており、畑の管理から醸造全般、瓶詰めやコルク打ちと言った作業も自らが手掛けているそうです。次回は、「AJUワインプロジェクト その後」についてお届けしようと思います。

私らしい毎日を過ごしたいから、暮らし方まで考えた家具がほしい。

「このキッチンってシンクが低くて収納少ないの。この間、買った食器洗浄機も案外スペース取るのよね。丸ごと収納できないかしら…」「洗濯物を取り込んだその場で、アイロンがけができるようなランドリースペースがあつたら便利なのに」「ベッドの脇に、起きたらすぐ着替えられるように服を掛けておけるハンガー掛けがほしいわ。」結婚後も仕事を続ける女性が増えています。記事に協力的な男性ももちろん増えていますが、やはり女性の負担はまだまだ大きいもの。家電製品の目覚しい進化で、家事労働はかなりスマートになったものの、意外にもその進化に対応していないのが、生活の中で大きなスペースをとっている家具。快適な毎日を送るために、「こんなひと工夫が施された家具があつたら…」そんな女性のため息が聞こえています。

家事も仕事も育児もがんばる女性の声を集めた『今、あなたがほしい家具』と一緒に作ってみませんか?

アルミ家具 新プロジェクト発足

ecoms

# すまじい設計と静岡の風土について 清 峰芳 【建築家】

恵まれた自然を見直すことから。

「普段はデスクワークや外回りが多いのですが、今回のセミナーを告知するチラシが出てから、「建築家になるにはどうしたらいいですか?」「雨漏りで困ってるんですけど、なんて電話がオフィスにかかるてくるようになります」。誠実かつ率直な語り口で会場を和ませた後、清さんの講演が始まりました。

今回のテーマである静岡の風土。静岡生まれの建築家・清さんが静岡の街を意識したことが2回ほどあるそうです。一度目は阪神大震災の後。倒壊が激しかった地区的調査を終え戻ってきた時、「静岡駅を降りたら、街が傾いて見えました」。そして、2度目は休日に出掛けたインド旅行の後。「駅か

ら市役所、お堀周辺を歩きながら、見慣れた風景をとても新鮮に感じたことが記憶に残っています」。

といいで、静岡は最高の風水学的条件を備えているってご存知でしたか?

北に南アルプス、西に安倍川、南に駿河湾という豊かな自然。そんな自然環境を活かした、清さん設計の建築物がありました。赤石岳と聖岳の間に位置し、南アルプスに昇る朝日を存分に堪能できる山小屋・百間洞山の家。海洋レクリエーション施設にふさわしく、L型の建物にRの屋根を取り付け、海を180度見渡せるホールを設置した用宗ファイシャリーナ。公園の持つやすらぎと歴史的背景を考慮し、和風の落ち着きを優先した駿府公園管理事務所。講演はこの後、こうした恵まれた自然の中で育まれ、時代と共に変遷してきた静岡の住文化について、現存する建築物を例に挙げながらのされたケーススタディの紹介に入りました。

解説に移ってきました。  
貴重な建築文化を愛してほしい。

「古代の住文化を今に残す登呂遺跡、神社仏閣が数多く建立された近世を象徴する浅間神社。特に拝殿・臨済寺は、そのアプローチが持つ落ち着きや、建物のダイナミックさにおいて日本でも代表的な神社建築と言えるでしょう。浅間神社建立の際に全国から集められた多くの大工や職人がそのまま静岡に残り、家具や木工産業の発展に大きく寄与したのですね」。近代建築では、八角形のドーム型をした塔に、テラコッタ彫刻を施した静岡市役所本館。当時としては先進的システムであったコンペティションによって設計が決定した静岡県庁。ギリシア建築風のデザインを採用した威厳ある雰

閑気の静岡銀行呉服町支店。安倍川中流の高台に佇むかやぶき屋根の民家。国の登録文化財として指定されている谷津の教会。「東西の要所として、新しい文化の流入地でもあった静岡には、全国でもわずかしか残存していない様式の建築が、数多くあります。私たちには、貴重な建築物を修復・保存していく使命があるのではないか」というか。

著名建築家による静岡の建築物。

あなたはいくつ挙げられますか? 例えば、1957年の駿府会館は、代々木体育馆の設計で有名な丹下健三氏。お茶商人だったマッケンジー氏の邸宅(1940年)は、ボーリス氏の設計。ボーリス氏は、池田の小学校校舎保存問題で「躍有名になったの方です。1981年ですから現代の建築になりますが、芹沢鉢介美術館を設計した白井晟一氏も、業界では広く知られた建築家と言えるでしょう。

住宅分類。

改めて整理してみよう。

このまでは、系統立てて聞く機会がほとんどない静岡の建築史について学びました。次は、よいよ現代の実践的な住まいづくりのお話。「ご存知の方も多いとは思います吧」と前置きした後、住宅の分類についての整理・解説が始まりました。まず、形式による分類。(1)一戸建て住宅 25~30坪、小家族や若年層が主。(2)一般住宅(35~40坪、中家族) (3)2世帯住宅(2~3階建て、若年層+熟年層) (4)高齢者・障害者向けパリアフリー住宅 そして、

「まずは、その土地の風土、気候、歴史、

設計。お風呂と坪庭のつながりも、心地良いスペースとなっていました。反対に、大屋根を採用した100坪の住宅の事例も。「広ければ設計しやすいと思うでしよう? 実は、そうでもないんです。正解がいくつもありますからね。厳しい条件の中で、最良を追求するのもいいのです」。元は雑木林だつた傾斜地に、基礎部分を利用した地下室的部屋をつくった郊外型住宅、左右に独立して分かれ、エントランスポーチを共有した2世帯住宅、古くから残る街並みの風情を活かした丸子宿の商店と、ケーススタディは続きました。



ecoms-seminar vol.13  
DATA 2003.11.26水PM1:30~3:30  
グランシップ2F 映像ホール  
内容についてはecomsで分析作成しています

次は工法による分類。(1)木造(軸組工法、2×4バネル工法、ログハウス etc.) (2)鉄骨多層階が可能で平面の自由度が高い) (3)鉄筋コンクリート(壁式工法、ラーメン構造 etc.) 最後にデザイン分類。(1)和風(数寄屋風・民家風 etc.) (2)和洋折衷(現代和風) (3)洋風(ヨーロピアン風、打ちっぱなしコンクリート etc.) そして、実際に清さんが設計されたケーススタディの紹介に入りました。

ショールームを訪れたことがあります。企画からスタートし、型材のノウハウを活かしながら加工まで手掛けたエネルギッシュな姿勢が素晴らしいと感じました。アルミの軽さとリサイクル性といった特性を活かしていくれば、例えばモバイル住宅など、さまざまな可能性があるでしよう。商品構成を広げていけば、最近アームになつているデザイナーズマンションなどにも多く利用されていくでしよう。防災や法規の問題など、個別の設定が必要になりますが、集合住宅にまで波及すれば、ビジネスとしても面白いですね。

静岡の県民性は、新しいものを導入することに慎重ですが、アルミの家具はいろんなインテリアに合うと思います。マンションやコンクリート打ちっぱなしの住宅はもちろんですが、木造の空間にも意外とマッチするのではないか。マンションやコンクリート打ちっぱなしの住宅はもちろんですが、木造の空間にも意外とマッチするのではないか。ちやこちやするより、小物などを使ってありますとした統一感を演出すれば、アルミが持つさりげないデザインの良さを活かせるでしよう。



1950年静岡市生まれ。1974年横浜国立大学工学部建築学科卒。横浜・静岡で設計活動後、1980年清建築設計事務所設立。1984年「静岡県住宅展20周年記念住宅設計コンペ」入賞。1987年国際居住年「高齢化社会における住まい方設計コンペ」入賞。現在、日本建築家协会会员・静岡県建築士事務所协会会员。



# 純アルミが醸し出すまるやかな艶 手仕事でつくれられた贅沢な逸品。

使い込むほどに自分らしさが刻み込まれる、究極のアルミバッグ。ひとつひとつ丁寧に作り上げられた逸品の輝きは、時を経ても色あせる事はない。



長めのストラップで使いやすさが魅力の「TB04」。  
キメすぎないほどよい甘さが、働く女性のビジネスシーンにお勧めです。  
W35×H26×D6.5cm  
オープン価格

男性に人気のアタッシュケース「TB03」。ベーシックでありながら個性を發揮したい、こだわり派のビジネスマンに。使い込むほどに深い味わいが醸し出される逸品です。  
W35×H26×D9cm オープン価格

叩き上げ、磨き抜かれたアルミだけが放つトロッとした甘やかな艶と輝き。よく鞣したレザーに武骨な真鍮のリベット。一見、斬新な組み合わせのようでありながらどこか懐かしさが漂うこの不思議なバッグ。一体どんなところで作られているのだろう…。そんな期待を胸に取材に訪ると、そこは町工場の車の板金屋さんでした。しかも、全国のミニアから名車・旧車が託されるレストア・カスタム専門の日本で有数の名工場だったのです。

「このバッグは、営業とか宣伝ってほとんどやってないです。売れてもそんなにたくさん作れないし、機械を使つて量産するつて気もないしね。本当に氣に入ってくれて、欲しいって言って下さる方がいれば、お作りする…そういうスタイルなんですよ」と語る永遠ボディーの社長、松村敬一さんは、この道筋の熟練工。気さくで職人堅気なお人柄が、言葉の端々に感じられます。

柔らかな純アルミの平板を叩き、伸ばし、圧縮する。一枚のアルミ板は熟練工の手で1・2ミリ厚に丁寧に叩き出され、やがて見事な曲線を描くまでに姿を変えていきます。

「アルミって言う素材は、加工がしやすい分、溶接は一発勝負でやり直しがきかない。だから作り手は、毎回緊張感をもつて取り組まなきゃいけないんだ。それでいて磨いてやるといい感じで光るんだよ。磨けば磨くほど、トロッとしたらまるやかな光り方に変わってくる。手を掛ければ掛けただけ、応えてくれる。これがアルミの魅力なんじゃないのかな」

機械のようにキチツと仕上がりすぎない分、素材の持ち味が凝縮され、滲み出ているプロペラのバッグ。手作りゆえの微妙な形の違いやゆがみも、笑つて楽しめる。傷のひとつも思い出だすと、慈しみながら愛着を持つて使いつづけて、「昨年あたりからアルミのバッグを作り始めたんですよ」

## こんな時代だからこそ 残していきたい職人技

「日本は機械を使った職人さんは少ないけれど、手仕事だけのはたくさんいるけど、手仕事だけの職人って少ないんだね。今の世の中は、なんでも機械に頼りすぎだと思いますよ。簡単に作れるから、物を大事に使おうって気持ちがなくなっちゃったんじゃないかな。昔はね、車だってアルミの平板から全部作っていたんですよ。そういう車は何年経っても、世界中の人たちに大事に乗り継がれている。時を経ても色あせない手仕事の職人技ってのを、今の若い人たちに残してやりたい。そんな風に思っているんですよ」



丸みを帯びたラインが可愛らしい、女性に人気の高いショルダーバッグ「TB07」。皮革とアルミの絶妙なバランスが男女を問わず、アクティブ志向の方から熱い支持を集めています。  
W23×H16×D7.5cm オープン価格

## 工房は、名車・旧車の レストア専門の名工場



丸みを帯びたラインが可愛らしい、女性に人気の高いショルダーバッグ「TB07」。皮革とアルミの絶妙なバランスが男女を問わず、アクティブ志向の方から熱い支持を集めています。  
W23×H16×D7.5cm オープン価格

座りやすさではなく、座つてみた  
いと思わせるのが「名品」の条件

歴史的に「名品」といわれる数々の  
椅子は、何をもつてそのように評価さ  
れるのでしょうか。椅子は座る道具で  
すから、名品ともなればとりわけ座  
り心地が優れているはずだと考えま  
す。ところが、それらは必ずしも座り  
やすいものばかりだとは限りません。

ル・コルビジエ(1928年作)  
シェーズ・ロング

**名品とは、人の心を突き動かす  
何かを備えている秀作である。**

中には座りにくいものさえあります。  
それでも名品です。

数年前に「バルセロナ・チェア」を手  
に入れました。ミース・ファン・デル・ロ  
ーハがデザインした名品といわれるも  
ののひとつです。それを初めて部屋に  
据えて眺めたときは、その美しさにあ  
らためて感動しました。室内の空気が  
が引き締まつたような気さえしまし  
た。ところが、さて、おもむろに座つて  
みると、これがなんとなくしつくりこ  
ない。家人などは身体が後ろへいくじ

してなにより、座りたいと思わせるも  
のが人を動かします。名品といわれる  
ものは、座りやすいという身体的な快  
適さもさることながら、座ること自体、  
部屋に据えることに精神的な満足を  
覚えるような、包括的な価値が高く  
評価できるものだといえましょう。

今回以降、世界の名品といわれるも  
のについて、さまざまな局  
面から、その時代背景を重ね合わせて  
観ていきたいと思います。

ます。加工技術の進歩によるクロムメ  
ッキ鋼管、それに塗装鋼板、布との組  
み合わせによるもので、ル・コルビジエは、  
彼が設計した住宅を「住む機械」と  
表現したのと同じように、この椅子を  
「休養のための機械」と呼んでいたよ  
うです。しかし、その優美な姿は、機  
械というよりはむしろ芸術品です。独  
立したU型のベースの上に、彎曲した  
鋼管フレームを持つ背と座を乗せ、そ  
れを前後に動かすことで傾斜を連続  
的に多様に調整できます。また、フレ

ームを直接床に置いてロッキング式の  
寝椅子としても使用できるようにな  
っています。当時のトーネット社のカタ  
ログには、帆布と子牛の毛皮を使った  
二種類が載っていますが、このモデルは  
現在でもカッサー社にて生産され続  
けています。当時の先端技術を背景に、  
新素材を使った伸びやかな造形と多  
様性を具現化したこの「シェーズ・ロン  
グ」は、その後の休息用の椅子に大き  
な影響を与えた代表的な名品のひと  
つといえましょう。



写真は手作りの五分の一縮尺モ  
デルです。これを作るに当っては、まず  
現物を探し出して細部にいたるまで  
採寸するわけですが、これがなかなか  
面倒な作業です。次に縮尺に合つ  
た材料を見つけなければなりませんが、  
特に子牛の毛皮は厄介でした。五分  
の一縮尺した子牛がいければいい  
のですが、そうはいきません。毛足の  
長いニットをムースで固めてプレスし、  
その上に模様を手描きました。



内藤博義

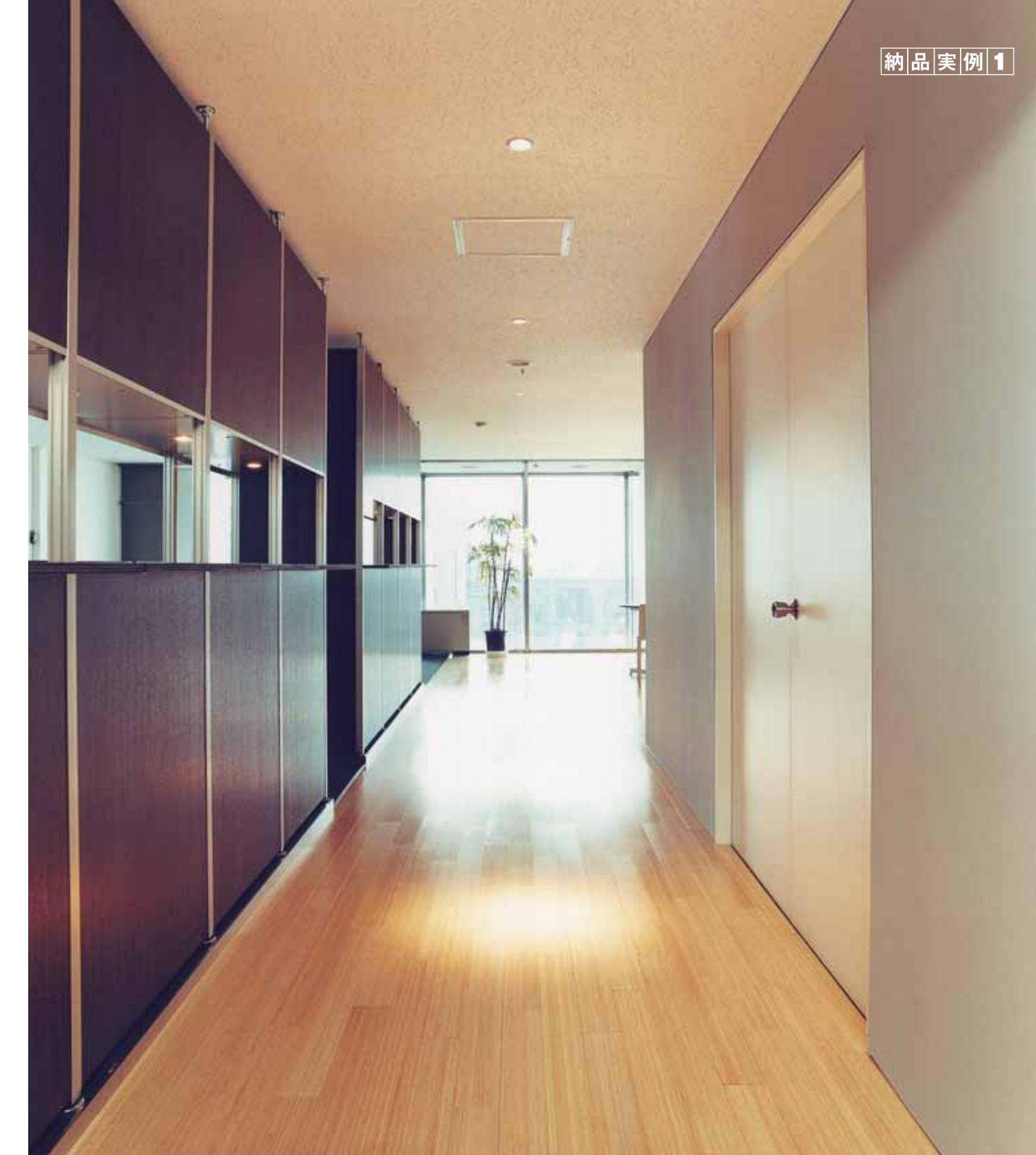
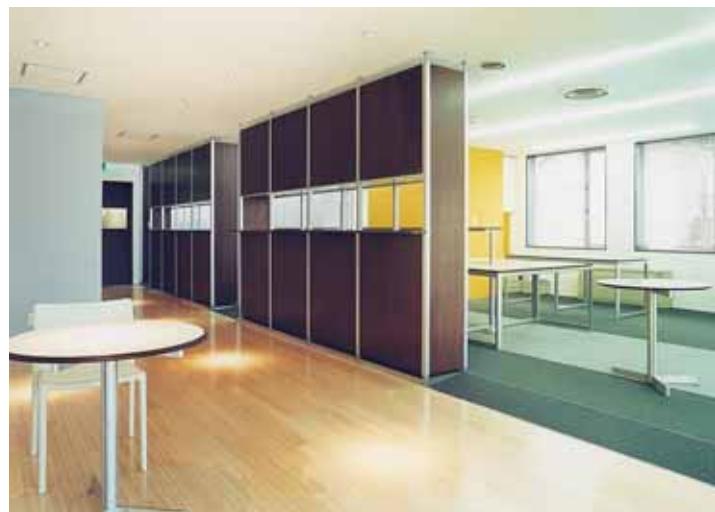
[有限会社内藤工業デザイン研究所代表取締役]  
1969年武蔵野美術大学造形学部産業デザ  
イン科工芸工芸デザイン卒・1972年有限会  
社内藤工業デザイン研究所設立・1982年浜  
松職業能力短期大学非常勤講師(～  
1995年)・1987年日本インダストリアルデザ  
イナー協会入会(JIDA)・1989年1989～  
2000年まで連続してグッドデザイン(Gマーク)  
を受賞・1994年国際工学院専門学校非常  
勤務講師(～1996年)・1977年静岡県技術  
アドバイザー(～現在)・2002年2003年グッ  
トデザイン賞受賞

まつて、足が床に届かない。オットマン  
を使つても身体に馴染まない。そ  
れで今では、座にあぐらをかいたり、  
正座したりするのが、わが家の「バルセ  
ロナ・チェア」の使い方として定着して  
しまいました。しかし、それでもこの  
椅子に満足しているのです。

椅子は座りやすさだけでは人の心  
を動かすことはできないようです。そ  
の時代の文化や技術を背景にしたデ  
ザイナーの理念が共感をうながし、そ

初回は建築家のル・コルビジエを中  
心とするグループが1928年にデ  
ザインした「シェーズ・ロング」と呼ばれ  
るもので、二十世紀の家具の中でも最  
も有名なもののひとつです。(写真は  
1／5縮小モデル)アールデコの影響を  
受けた斬新な形態で、当時としては  
新しい素材である鋼管を使用してい

建築家ル・コルビジエ作 優美  
な芸術品「休養のための機械」



事務所の改装にあたり、エコムスのオーダーメイドシステムをご利用いただいたA社様。改装前に社員の方々にどんな点を改善してほしいのかをまとめていただいたところ、左記のような意見が挙げられました。

【不満な点について】  
 ●仮設営業所のような雰囲気・大きなガラスがあるにもかかわらず日中でも暗い・フロアに境目がないで来客者から仕事の内容が丸見え・書類の収納場所に決まりがなく、雑然と什器が並んでいて使いにくく  
 こうした意見を受けて、改装を依頼する際には改善ポイントを要望として提出したそうです。

【改善してほしい点】  
 ●外来客と事務所のスペースに区別をつける●各自の机にはノートパソコンをある程度の余裕がほしい●収納スペースを増やしてほしい

社員の方の意見を十分取り入れた上で、設計士さんが選んでくださったのが、オーダーメイドのエコムス家具でした。無駄を省いた合理的なデザイン、大容量の収納力。以前から使用している什器もエコムスの家具でカバーをし、周りとのバランスを損ねることなく使用できる点などに高い評価をいただきました。

「来社されるお客様は一様に、ずいぶん変わりましたね。と驚かれるんですよ。カラフルな色合いの家具とアルミのシルバーが調和して、事務所の雰囲気が明るくなりました。収納スペースみんな大満足です」  
 リフレッシュした空間で、皆さんイキイキと働いていらっしゃいます。

## 社員の声を取り入れた理想のワークスペースを実現!

東京都千代田区 A社様 平成15年11月納品  
 設計・デザイン 濱中直樹 (ball inc.) 03-3513-5260 写真 片岡陽太



アルミを中心とした機械部品加工会社を経営しているM社様は、以前から「エコムスフィット」の家具に注目していたとのこと。事務所内の気になるデッドスペースを有効活用したいとのご相談を受け、グリッドシェルフ（変形バージョン）とS-テーブル（特注）を納品させていただきました。

社様。グリッドシェルフのサイズと照らし合わせてみたところ、まるでオーダーしたかのようにサイズがぴったり。I型・T型・X型・L型の4種類のパ

でとても便利ですね」  
事務所があまり広くないので、来客の際には事務椅子に座ったままお客様と商談をされると言う社長様のお悩みは、来客用ソファーとの間に置くテーブルの高さでした。以前使用していたものは低すぎてお茶に手が届かず、皆さんが苦笑いをされていましたが、「高さや大きさも、うちの事務所サイズに作ってもらえたのは本当に良かったですね。ガラスの天板は圧迫感がな



### 納品実例③

## デッドスペースを隙間収納に限られた空間を有効活用

静岡市 M社様 平成15年12月納品



変形TV台 W660mm×950mm D450mm H450mm キャビネット W950mm D450mm H450mm

もともとアルミ等を使った無機質なインテリアがお好きだったという山崎様ご夫妻。ご自宅の新築に合わせてイメージ通りの部屋作りをしたいと、インターネットでこまめにサイト検索をする中で、エコムスフィットを見つけて頂いたことが、ご来店のきっかけとなりました。

高台に新築されたお宅は二階にリビングを設け、大きな窓越しに広がる街の景色を一望できる絶好のロケーション。夜景を眺めるためにライティングにもこだわったそうです。ピクチャーウィンドウをメインにするために、テレビやオーディオ類はすべてコーナーへまとめました。

「いろいろな店を見て回りましたが

最終的にはオーダーメイドで、自分たちだけのオリジナル家具を作つてもらえるという点に惹かれて、エコムスさんに決めました。イメージしていた通りの仕上がりで、本当に満足しています。新居に遊びにくる友人もみんな誉めてくれますね」とご主人様。カーテンやローテーブル、観葉植物…ご夫妻のセンスで選び抜かれたインテリアがアルミの家具と見事に調和して、シンプルな空間を演出しています。「音楽が趣味なので、AV機器にこだわりがあるんですよ。部屋の雰囲気に統一感を持たせながら、すっきり収納できたのがよかったです」

オーダーメイドの良さを十分發揮できた山崎様への納品となりました。

### 納品実例②

## こだわった分だけ満足度も高い

静岡市 山崎様邸 平成15年11月納品

# アルミで ビフォー！ アフター

● 第回 オフィス編

家具のトーンをまとめて  
バランスを整える」とで  
広々とした空間に

間口5.75メートル、奥行き7.8メートルの「ごく一般的なオフィスです。事務机、什器そのものはそれほど古くありませんが、収納スペースが少なく、雑多な雰囲気になってしまふのが悩みの種」と依頼者。リフォームにあたつての「希望は、オフィスに生まれ変わりました。」  
①来客や打ち合わせが多いので、ゆつたりとした商談スペースがほしい。  
②普段あまり使わないものをしまつておける大きな収納スペースがほしい。  
③デザイン的に統一感のあるおしゃれなオフィスにしたい。という3点でした。

テレビでも雑誌でも、いまリフォームが大人気。建築士やインテリアコーディネーターの手によって、美しく生まれ変わっていく様子を見るたびに、で変わることなら我が家も…と夢を膨らませている方も多いことでしょう。ところがいざリフォームをと思っても、やはり先立つのは資金。予算内でどれだけのリフォームができるのか、事前によく調べておく必要があります。それから、イメージをきちんと伝えられるように前もって準備をしておくことも必要です。

このコーナーでは一番イメージしにくい施工後の様子を、CGを使ったイラストでご紹介いたします。オフィス・店舗・一般住宅、それをエコムス家具を中心コーディネートした場合を想定してみましょう。第一回目は、オフィス編です。



いかがでしたか？頭の中ではイメージできても、いざリフォームとなると、どうしたいのかを業者さんに伝えられない…という方、ぜひこのコーナーをご利用ください。採用させていただき

ましたお客様のお部屋を、誌面上で「無料リフォーム」させていただきます。こ

のコーナーは皆様からお寄せいたい

お写真をもとに、誌面を構成してい

きます。どしどこ応募ください。

尚、このコーナーで採用させていた

だいたお客様に弊社から積極的に営

業のご案内をさせていただくと言つ

ことは一切ございません。どうぞ、お気

軽にご応募くださいませ。

《応募先》  
〒424-0103 静岡県静岡市清水尾羽105-1 SUS株式会社 エコムス編集部「アルミでビフォーアフター係」  
Eメールでお申し込みの方 弊社HP (<http://ecomsfit.com/>) 内「アルミでビフォーアフター」  
《お申し込み必要事項》  
住所・氏名・連絡先・リフォームしたい部屋のお写真(部屋のサイズを明記の上2~3枚)・リフォームにあたっての希望事項を明記の上、ご応募ください。応募多数の場合は抽選となります。採用の方には、事前にご連絡をさせていただきます。



第1回 アジアンスタイル編



チョンマットに、オフホワイトの皿でアクセントを。グラスには赤ワインを注いでみてはいかがでしょうか。

テーブルの上にも、バリの小物を飾つてみました。バンブーを編みこんだ笠から洩れるやわらかな灯りに照らされた愛らしいバリ猫。季節の花をさりげなくあしらつてみるのも素敵です。今回は落ち着いたコーディネートにするために雑貨、ドライフラワーを使用しましたが、部屋の片隅にグリーンを取り入れると、活き活きとした雰囲気になるでしょう。水に浮かべたキャンドルに火を灯して異国情緒を演出してみませんか。

ソファーには、木製の猫の置物を飾つてみました。アルミ家具の少し冷たい雰囲気がほんのりと温かみを増すのもアジアの雑貨ならではのもの。ちょっとしたワンポイントで、部屋の空気も変わります。

シンプルながら、温もりのあるバリの雑貨は、意外にもアルミとよくマッチするようです。壁に絵画を飾る、グリーンをあしらう、照明を工夫するなどさまざまな方法で、あなたらしいアジアスタイルを演出してみてはいかがでしょうか。

さて、次回はアルミとラテンチガジアルのコラボレーションをお届けします。クールなイメージのアルミ家具を明るくわいらしく見せる演出を考えます。



《撮影協力》クマリ 富士市平塙270-10 バロー3F TEL.0545-65-6577

# ASIA S T Y L E

洗練された美しさを崩さずに  
くつろぎの空間へと誘う。  
アルミとアジアのコラボレーション

「アルミの家具って、他のインテリアとの調和が難しいんですよね。どういう風にコーディネートしたらいいのかわからないんです」

アルミの家具といえば、生活感のない無機質な空間しか似合わない、と思っている方が意外に多いようで、前出のような声をよく耳にします。

そこで今回からアルミの家具をメインに、さまざまなスタイルのインテリアと組み合わせたコーディネートをご紹

介していくと思います。

第一回目となるアジアンスタイルは、

無機質なアルミとは相反する、自然素材をふんだんに使ったアイテムが多いのが特徴です。組み合わせによっては非常にアンバランスになりますが、ここでは上品で洗練されたバリのリゾートを意識したコーディネートを目指してみました。

アジアンスタイルの中でも、特に天然の色合いや温かみが持ち味のバリ雑貨。テーブルを覆うイカット(バリのかすり織り)は、黒を基調とした色目をセレクト。アルミの特色とも言えるシックで落ち着いた雰囲気を壊さずに、アジアンムードを醸し出せます。イカットの赤い模様が渋くなりがちなコーディネートを明るく引き立てます。アタ(水草の一種)を編みこんだブラウンのラン



# FUMIKO KURITA

栗田富美子 [食環境プロデューサー]

TV、各メディアを通して、コマーシャル、イベント空間、テーブルコーディネートを手掛け、近年ではオリジナルなパーティープロデュースも。栗田富美子テーブルサロン(㈱栗田屋本店を拠点に、テーブルコーディネートセミナー(デザインコース16期生募集中)プライダルセミナーを開催。また平成13年には日本茶インストラクターを取得し、お茶セミナーなど文化サロンを開設。<http://www.kuritaya.com/>

2003年12月19日(金)・20日(土) 13:30~15:30 ecoms fit 静岡ショールームにて

## 大福茶

元旦に一年の無病息災を願い、小梅と結び昆布に熟々の玄米茶を注いでおごそかにいただく、芳ばしいお茶です。「大福茶」は「大服茶」とも書き、起源は空也上人ゆかりの「皇服茶」です。平安時代に都が疫病に見舞われた際、上人自らが刻んだ菩薩像と小梅と結び昆布を入れた湯を車にのせて都中を巡ったところ、たちまち疫病が治まったという謂れがあり、病床にあった村上天皇もこのお茶で平癒したので「皇服茶」と呼ばれるようになりました。一年の始まりに一服いただけば、幸多い一年となると言われています。

## 花びら餅

白餅を丸く伸ばした中に赤く染めた味噌餡を敷き、甘く炊いたごぼうをはさんだ「花びら餅」は、宮中や神社では600年以上もの間、正月のおせち料理のひとつとして作り続けられている「菱はなびら」に由来する由緒正しい和菓子です。明治時代に裏千家が初釜に用いることを宮中から許され、以後、新春の風物詩となっています。



## 第14回 ecomsセミナー 「素敵なお正月の食卓&お正月のお茶」

### 《実習その1》ナップキンの折り方

テーブルコーディネーターに欠かせない名脇役、ナップキン。ちょうどした工夫で素敵な演出ができるので、いろいろな折り方を覚えてTPOで使い分けてください。ところが、パーティー会場や雑誌の中ではよく見かけるナップキンも、折り方については意外に知らない人が多いようです。今回は、「司教冠」「ろうそく」「扇」「バラ」「縁結び」の5種類を教えていただきました。

一人一人に配られたナップキンを手に、先生の講義に耳を傾けながら皆さんに試食していただきました。

日本茶インストラクターでもある栗田先生が、おいしい煎茶の入れ方を披露してくださいました。お湯を適温まで冷まして入れる: 基本とわかっていても、普段の生活では、熱いお湯をそのまま入れてしまう人も多いのです。沸騰した直後のお湯はカルキ臭が強い為、3~4分沸騰させカルキ臭を飛ばすのが、おいしいお茶を飲むコツだとの指

### 《実習その2》お茶の入れ方

今回は、本来使用する玄米茶ではなく、軽く煮つた煎茶を使用。各グループごとに、トースターを使って煎茶を三十秒ほど煮つていただきました。香ばしい香りが二面に漂うなか、お茶の新しい頂き方を覚えた皆さん表情はとても満足そう。大福茶と花びら餅で素敵なお正月の食卓をお過ごしだきました。

大盛況で終了したショールームでのエコムスセミナー。今後も皆様の豊かな感性をくすぐるような、素敵な企画をご用意しております。詳しくは、折込チラシやリビング誌などを参考ください。あなたも午後のひと時を、ショールームでお過ごしになってみませ

クリスマス・お正月を目前にした昨年12月中旬、静岡ショールームを会場に、初めてのサロン形式セミナーが開かれました。講師にお招きしたのは、エコムスでは2回目の登場となる食環境プロデューサーの栗田富美子先生。

各日定員20名で二日間限定のセミナーには多くのお客様がお見えになりました。境内プロデューサーの栗田富美子先生と一緒に見事なテーブルコーディネートを施してくださった栗田先生のセンス、合わせや花器の使い方、和洋折衷のワークアレンジメントなどを丁寧にお話ししてくださった後、いよいよ実習へ。

今回のセミナーは、ホールで行われいた講義式とは一味違い、その場で体験したり試食したり、内容が盛りだ集まつた皆さんからは感嘆の声があります。お正月を演出する器の取り扱いや花器の使い方、和洋折衷のフ

ラワー、アレンジメントなどを丁寧にお話ししてくださった後、いよいよ実習へ。その後のひと時をお過ごしていただきました。

今回のセミナーは、ホールで行われいた講義式とは一味違い、その場で体験したり試食したり、内容が盛りだ集まつた皆さんからは感嘆の声があります。お正月を演出する器の取り扱いや花器の使い方、和洋折衷のフ

# 光の繭はアルミの 空間に柔らかくとけ込む



白い壁とシンプルのアルミという空間の中に、そのランプは優しく馴染んでいました。

「主張」よりも空間に溶け込む陶器。そのうえ軽やかでユーモラスな物作りを心がけています。白井氏は微笑みます。その笑顔は光と遊ぶ妖精のようでした。

自分にとって心地よい形と、これ以上やつたら不快になるかもしれないという、ギリギリのところをつくつていきたい。という緊張感。決して作為的にならず、ユートラルな気持ちでつくつていきたい。という落ち着きの中で、光の繭は、生まれてくるのです。不思議な微睡みを感じるのは、「こんな背

上やつたら不快になるかもしれないという、ギリギリのところをつくつていきたい。という緊張感。決して作為的にならず、ユートラルな気持ちでつくつていきたい。という落ち着きの中で、光の繭は、生まれてくるのです。不思議な微睡みを感じるのは、「こんな背



[12月個展] 2003.12.6(土)~14日 出展者:白井洋子

景があるからでしょうか?

光が放たれると、たいていのものは幻想的に見えます。ですから、それにあまり特別な気は使っていません。

光の無い状態で、自分にとって心地の良い形にしたいと思っています。光はそれをまた一段と豊かにしてくれるはずです。白井氏の言葉は、人の生き方そのものを陶器に例えてくださったような気がしました。

エコムスファイトのショールームには、今でも「光の繭」が住んでいます。皆様も是非、足を運んでみませんか? 午後は穏やかに、夜は美しく貴方を迎えてくれることでしょう。

エコムスファイトのショールームには、今でも「光の繭」が住んでいます。皆様も是非、足を運んでみませんか? 午後は穏やかに、夜は美しく貴方を迎えてくれることでしょう。

とても女性が書いたと思えないほど力強い書の数々…その書を見ているとホッとするし、惹かれるし、心にスッと入ってくる不思議を感じる。

櫻井氏は、書を通して常に自分探しをしていると言う。「自分らしさ」「自分にしかないもの」を求めつけている。勿論、書の「基礎」は大切。その上に「思い」をのせ、常に「新鮮さ」を追い続けている。技術云々よりも「言葉」を伝える、そして空間の中に如何にして書を主張させながら溶け込ませていくか…それは櫻井氏が好きな「デザイン」にも通じている。書と現代美術を融合させたいという趣きどおり、書の隣に展示されているコラ

ジュ作品、こちらにもつい惹かれてしまう。線で表現されているコラージュは、大胆な色づかいだが繊細で上品でモダン。これも全て書と通じていると言。書の文字ひとつがまるで個性をもっているかのようにちりばめられても、絶妙にまとまっているのは何故か、それは字でなく「空間」を見ているから…。

エコムスファイトのアルミ空間は、書により和が息づき、コラージュにより色彩で空間となりました。櫻井氏の遊び心あふれる自由な「書とコラージュ」の競演、これから作品もすでに待ち遠しいです。



[1月個展] 2004.1.10(土)~18日 出展者:櫻井朱實

## 櫻井朱實展 書とコラージュ

# 「人間も自然の一部である」というメッセージを彫刻で伝えたかった

細い指先でスカートのすそを広げ、上品に微笑む可憐な少女…。

すべてアルミで作られたこの彫刻の名は「風舞」。風がやさしく通るたびに、まるで命を吹き込まれたかのように少女は踊り出しました。自分で美しくやさしいその動きに、少女がアルミで作られた彫刻であることを忘れて、思わず見入ってしまいました。



「風舞」

彫刻を始められたきっかけを教えてください。

子供のころから粘土が好きで、高校までずっとやっていました。とは言っても遊びの範疇でして、祖父が持っていた美術全集を納戸の中でこつそり見ながら、真似ていただけなんですがね(笑) 美大を受験することになつて、粘土の感覺に一番近い表現方法…という感じで彫刻を選んだのがきっかけでしようか。

アルミを使うことで彫刻として表現できることは何ででしょうか。

いろいろな素材の中で金属特にアルミを作品に使うのはなぜですか。

大学に入つて初めて金属彫刻の存

在を知ったのですが、足りない部分を足す、いらない部分は削るという加算の工程が粘土と同じだったので、抵抗なく取り組めたように思います。最初は鉄から入つたのですが、やはりその時代を象徴する新しい金属を使って何かを表現してみたい。そんな気持ちからアルミを使用するようになつたんだと思います。

関さんの作品は、人をかたどつた、しかも「動く彫刻」が特徴ですね。

確かに「動く彫刻」というのは、アルミで作品

づくりを始めてからずっと取り組んで

いるテーマです。彫刻というのは、野外に置かれるものがほとんどです。ですから、自然と体化して初めて完成す

るものだと思っています。自然の

やはり金属の中でもやさしい雰囲気が出やすいという点ではないでしょ

うか。作品には全て99・99%という純度を持つ3ミリの平板を使用していま

す。この板を溶接し、グラインダーを

動かして、叩いて曲げて削つて…という作業をひたすら繰り返して、ハリを持たせて作り上げていくんですね。こうして工程を続けていくうちに、金属であまりながら温かみのある表情が出てくるんです。それが、私が作品でよく作る人形と言うモチーフに、とても合っている。そんな風に思っています。



関 正司 [彫刻家]

1950年東京(大田区)生まれ 1974年東京芸術大学美術学部彫刻科卒業 1976年東京芸術大学 大学院修了 1977年第7回現代日本彫刻展「ALUM DOLL」以後、アルミを使った彫刻を精力的に制作。1981年「WIND DANCER」第9回長野市野外彫刻賞 1987年第2回現代日本具象彫刻展大賞「ATHENA」 1995年「FUTURE SUPPORTERS」千葉市平和都市宣言記念像コンペ最優秀賞 1999年からくりコンテスト'99in名古屋「風舞」準グランプリ

<http://www005.upp.so-net.ne.jp/sculptor-seki/>



## INFORMATION

### [2月個展] 三人展「my style」

2004.2.8日~15日 ecoms fit 静岡ショールーム1F.2F  
出展者:ミクストメディア・写真・映像etc hiichan(岡本仁見)  
バッチャワーク 村木よし江・岡本陸子  
10:00AM~19:00PM (2.11水は定休日)

### [3月個展]

### area (エリア)

2004.3.6日~14日 ecoms fit 静岡ショールーム1F.2F  
出展者:美術作家 持塚三樹  
10:00AM~19:00PM (3.10水は定休日)

